

平成27年度決算に係る

定期監査調書

平成28年6月

畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項	1	頁
	(2) 監査意見	1	頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1	頁
3	組織及び業務調べ	1	頁
4	職員の定員、現員調べ	1	頁
5	役付職員の調べ	1	頁
6	主な事業に関する調べ	2	頁
7	収入証紙取扱額調べ	4	頁
8	収入事務処理状況調べ	4	頁
	(1) 分担金及び負担金	4	頁
	(2) 使用料	4	頁
	(3) 手数料	4	頁
	(4) 財産収入	5	頁
	(5) 諸収入	5	頁
	(6) 現金の取扱状況	6	頁
9	収入未済額調べ	7	頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7	頁
11	不納欠損額調べ	7	頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	7	頁
	(1) 負担金	7	頁
	(2) 補助金	7	頁
	(3) 交付金	7	頁
	(4) 委託料	8	頁
13	工事請負費調べ	9	頁
14	財産に関する調べ	9	頁
	(1) 公有財産	9	頁
	(2) 金券類の受払状況	11	頁
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12	頁
	(1) 土地及び建物	12	頁
	(2) 物品	13	頁
16	借受不動産明細調べ	13	頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	14	頁
	(1) 職員住宅	14	頁
	(2) 職員駐車場	14	頁
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	15	頁
19	寄附物件の受納状況調べ	15	頁
20	備品の処分状況調べ	16	頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20	頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	20	頁
	(2) 物品の照合	20	頁
22	事業別予算執行状況調べ	21	頁
23	農業機械の管理状況	23	頁
24	生産物(品)に関する調べ	24	頁
25	試験研究調査事業別実施状況調べ	25	頁
○	意見・要望等	31	頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
 (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
畜産試験場	肉用牛研究室	○大家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関すること。 ○大家畜の経営技術の改善に関すること。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関すること。 ○和牛の遺伝子解析と育種を用いた改良増殖に関すること。 ○大家畜の生物工学を用いた改良増殖に関すること。 ○牛肉の肉質向上に関すること。
	酪農・飼料研究室	○乳牛の飼養管理技術の確立に関すること。 ○飼料作物及び牧草の栽培調整利用技術に関すること。 ○飼料の分析に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成28年4月1日現在)

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当年度	27.4.1現在	当年度	27.4.1現在	当年度	27.4.1現在	当年度	27.4.1現在	
定員		1	1	14	14	8	8	23	23	
現員		() 1	() 1	(2) 15	() 14	() 8	() 8	() 24	() 23	育休2名
過不足(△)		0	0	1	0	0	0	1	0	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		2	2	3	3	8	7	13	12	事務2名、畜産技術員8名(うち研究補助3名、飼育管理補助6名)、警備員2名

5 役付職員の調べ

(平成28年6月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	米田 和晃		2	
室長(肉用牛研究室)	福田 孝彦	3	2	
室長(育種改良研究室)	田淵 一郎	2	2	継続勤務期間:9年
室長(酪農・飼料研究室)	瀬尾 哲則		2	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要												
<p>強化哺育を活用した和子牛の育成技術確立試験</p> <p>決算額 3,743千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 0円 財産収入 3,743千円</p> <p>実施計画期間 H26～H28年度</p> <p>○将来ビジョン I【ひらく】地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 高タンパク・低脂肪の代用乳を多給し子牛の初期発育を向上させる「強化哺育」を活用して、発育良好で筋肉質の和子牛を育成することにより、子牛市場での評価を高め農家経営の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 慣行的人工哺育と強化哺育との比較 場内で生産された10頭の黒毛和種雄子牛を用いて、従来型の慣行的な人工哺育と強化哺育を実施し、出生から8ヵ月齢までの発育、飼料摂取量、血液性状の違いを比較し強化哺育の発育改善効果を検証した(対照区5頭、強化区5頭)。</p> <p>(2) 強化哺育の哺乳・飼料給与プログラムの改善 強化哺育の哺乳期間終了後に発症する消化不良性の下痢を起因とする発育停滞を改善するため、哺乳期から離乳後の哺乳及び飼料給与プログラムの修正案を作成し、通常の強化哺育プログラムと比較検討した。現在試験を継続中。</p> <div data-bbox="395 784 1428 1294"> <table border="1"> <caption>各期間におけるDGの比較</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>対照区 (DG)</th> <th>強化区 (DG)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出生～3ヵ月齢</td> <td>0.56</td> <td>0.93**</td> </tr> <tr> <td>3～8ヵ月齢</td> <td>1.12</td> <td>1.09</td> </tr> <tr> <td>出生～8ヵ月齢</td> <td>0.91</td> <td>1.03*</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>図 各期間におけるDGの比較 **: 1%水準で有意差あり *: 5%水準で有意差あり</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 子牛の分娩事故防止のため、分娩予定牛の体温をモニタリングし分娩日時を予測する分娩監視システムを導入した。</p> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 強化哺育を用いた子牛育成法の発育様相、発育改善効果が明らかになった。強化哺育の8ヵ月齢時の体重は282kg(対照区254kg)と優れた発育を示した。出生から3ヵ月齢までのDGは0.93(対照区0.56)と哺乳期間中の発育が特に優れ、離乳後の発育には差はなかった。 日本畜産学会第121回大会(平成28年3月開催)において試験成果を発表した。 <p>エ 課題 強化哺育による子牛育成技術を生産現場への普及に向け、性別、血統、出生時体重を考慮し、より多くの個体を用いた検証を行う必要がある。</p> <p><用語解説></p> <p>代用乳：子牛に与える粉ミルクのこと。 強化哺育：従来の人工哺育より高タンパク低脂肪の代用乳を多量に長期間給与することで発育良好な子牛を育成する方法。 DG：1日当たりの増体重(kg/日・ある期間の体重増加量を日数で割算した数字)</p>	期間	対照区 (DG)	強化区 (DG)	出生～3ヵ月齢	0.56	0.93**	3～8ヵ月齢	1.12	1.09	出生～8ヵ月齢	0.91	1.03*
期間	対照区 (DG)	強化区 (DG)											
出生～3ヵ月齢	0.56	0.93**											
3～8ヵ月齢	1.12	1.09											
出生～8ヵ月齢	0.91	1.03*											

事業名	概要																								
<p>牛の精液供給事業</p> <p>決算額 9,625千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 9,435千円 財産収入 190千円</p> <p>実施計画期間 S53年度～</p> <p>○将来ビジョン 1.【ひらく】地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛凍結精液を安定的に供給する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) 種雄牛及び種雄候補牛の飼養管理及び精液採取 ・後代検定を終了した種雄候補牛のうち、検定成績が優れていた2頭(百合福久と平白鵬)を種雄牛として選抜した。なお、百合福久を選抜した当時、後代検定成績のうち、脂肪交雑(霜降りの度合い)の項目で、白鵬85の3、百合白清2、百合福久が全国1から3位を占めることとなり、全国で注目される存在となった。</p> <p>【用語解説】後代検定：種雄候補牛を父に持つ子牛(後代牛)を20頭程度肥育して、その枝肉成績から父牛(種雄候補牛)の産肉能力を調査すること</p> <p>・この結果、当試験場で繋養している種雄牛は6頭、後代検定中の候補牛は9頭、待機牛は1頭となった。</p> <p>(2) 人工授精用凍結精液の生産、保管及び供給 ・優秀な種雄牛凍結精液を安定的に生産するとともに、農家ニーズに即して供給した。 ・凍結精液の販売収入については、平成27年4月から鳥取県和牛振興戦略基金に積み立てを行った。</p> <p>イ 平成27年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・凍結精液の安定生産のため、県外視察を行い、種雄牛の飼養管理の技術向上に取り組んだ。 ・凍結精液の県外販売体制について、生産者、農業団体、畜産関係機関で組織する鳥取県和牛振興戦略会議で販売方法、販売先の決定等を協議する体制を構築した。</p> <p>ウ 成果 ・凍結精液の生産本数(H27.4.1～H28.3.31) 39,177本 ・凍結精液の配布本数(H27.4.1～H28.3.31) 8,567本 ・凍結精液の販売額 7,654,740円 ・新たに凍結精液の県外販売を開始した。 ※決定本数：1,140本(百合白清2凍結精液) H27年度の県外販売分の配布はH28年4月に実施のため、配布本数(1,140本)と販売額(16,622千円)は下表に反映していない。</p> <table border="1" data-bbox="422 1630 1375 1854"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度 (県内販売のみ)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生産本数(本)</td> <td>20,233</td> <td>15,636</td> <td>19,459</td> <td>30,528</td> <td>39,177</td> </tr> <tr> <td>配布本数(本)</td> <td>4,239</td> <td>3,326</td> <td>4,871</td> <td>14,754</td> <td>8,567</td> </tr> <tr> <td>販売額(千円)</td> <td>2,645</td> <td>4,361</td> <td>3,966</td> <td>11,618</td> <td>7,655</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ 課題 ・県内外からの需要が増大しており、需要に見合った計画的な凍結精液の生産が必要である。 ・高能力種雄牛の管理は繊細かつ高度な技術が必要であり、更なる飼養管理技術の向上への取り組みが必要である。</p>		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (県内販売のみ)	生産本数(本)	20,233	15,636	19,459	30,528	39,177	配布本数(本)	4,239	3,326	4,871	14,754	8,567	販売額(千円)	2,645	4,361	3,966	11,618	7,655
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (県内販売のみ)																				
生産本数(本)	20,233	15,636	19,459	30,528	39,177																				
配布本数(本)	4,239	3,326	4,871	14,754	8,567																				
販売額(千円)	2,645	4,361	3,966	11,618	7,655																				

7 収入証紙取扱額調べ

(平成28年5月31日)
(単位:円)

収入科目		件数	単価(円)	証紙はりつけ額(円)	備考
目	節				
農林水産業手	畜産業手数料	539	700	377,300	鳥取県収入証紙条例
	飼料分析手数料				
	計(節)	539		377,300	
	目計	539		377,300	
	合計	539		377,300	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成28年5月31日)
(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
行政財産使用料	電力	1	14,280	14,280	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
	電気通信	2	15,000	15,000	0	0	"	
	計(節)	3	29,280	29,280	0	0		
	目計	3	29,280	29,280	0	0		
	合計	3	29,280	29,280	0	0		

(3) 手数料

(平成28年5月31日)
(単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
農林水産業手数料	畜産業手数料	193	135,100	135,100	0	0	鳥取県手数料徴収条例	現金収入
	飼料分析手数料							
	計(節)	193	135,100	135,100	0	0		
	目計	193	135,100	135,100	0	0		
	合計	193	135,100	135,100	0	0		

(4) 財産収入

(平成28年5月31日)
(単位:円)

目	節		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	目	細節							
生産物売払収入	生産物売払収入	生乳、精液、子牛等売払	37	40,492,187	40,492,187	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		計(節)	37	40,492,187	40,492,187	0	0		
	目	計	37	40,492,187	40,492,187	0	0		
家畜類売払収入	家畜類売払収入	牛売払	25	49,463,050	49,463,050	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		計(節)	25	49,463,050	49,463,050	0	0		
	目	計	25	49,463,050	49,463,050	0	0		
物品売払収入	物品売払収入	鉄くず	1	64,864	64,864	0	0	鳥取県物品事務取扱規則	
		計(節)	1	64,864	64,864	0	0		
	目	計	1	64,864	64,864	0	0		
財産貸付収入	財産貸付収入	建物・牛	2	2,167,780	2,167,780	0	0	公有財産事務取扱要項	
		計(節)	2	2,167,780	2,167,780	0	0		
	目	計	2	2,167,780	2,167,780	0	0		
	目	合計	65	92,187,881	92,187,881	0	0		

(5) 諸収入

(平成28年5月31日)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
受託事業収入	近畿大学受託事業	近畿大学受託事業	1	1,250,000	1,250,000	0	0		
	美敦牧場受託事業	美敦牧場受託事業	1	224,000	224,000	0	0		
	<small>畜産技術協会研究所受託事業</small>	畜産技術協会研究所受託事業	1	1,000,000	1,000,000	0	0		
	目	計	3	2,474,000	2,474,000	0	0		
雑収入	自動販売機設置取扱手数料		4	50,609	50,609	0	0	公有財産事務取扱要項	
	自動販売機設置にかかる電気代		4	26,658	26,658	0	0	公有財産事務取扱要項	
	非常勤職員雇用保険料		1	108,441	108,441	0	0		
	目	計	9	185,708	185,708	0	0		
	目	合計	12	2,659,708	2,659,708	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況

(平成28年5月31日)
(単位:円)

収入科目(節)	収入 済 額	備 考
畜産業手数料	135,100	飼料分析手数料
合 計	135,100 (193件)	

イ つり銭の状況

(平成28年5月31日)	
つり銭の有無	つり銭の額(円)
有	20,000

- 9 収入未済額調べ 該当なし
- 10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 (平成28年5月31日) (単位:円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月 日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要綱 等を含む)	備考
負担金	5,000	鳥取県改良協会会費	鳥取県家畜改良協会		H27.8.3	5,000		ID:15-00059737
新規以外のもの						25,000		ID:15-00046494 ID:15-00063897
目計						30,000		
合計						30,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4)委託料

(平成28年5月31日)
(単位:円)

予算科目 (目)	国 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	変更契約(最終) (契約年月日) 契約額	契約期間			契約形態	支出 区分	支出 年月日		金額
畜産試験場費	単県	供卵牛飼養管理・ 採卵業務委託	鳥取県畜産振興協 会	7,020,000	(H27.4.1) 7,019,287	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.30 (免除)	H28.4.8	精	H27.11.16他	6,692,085	ID:14-00183550	
	単県	自動搾乳システムメ ンテナンス業務委 託	藤原産業(株)鳥取 営業所	1,296,000	(H27.4.1) 1,296,000	H27.4.1 ~ H28.3.31	H27.3.12 (免除)	H27.5.30他	精	H27.6.24他	1,296,000	ID:14-00173655	
	単県	砂丘地飼料作物裁 培試験任管理委託	武田 富士男	373,520	(H27.5.1) 373,520	H27.5.1 ~ H27.9.30	H27.4.21 (免除)	H27.9.30	精	H27.10.27	373,520	ID:15-00012528	
	単県	作業環境測定業務 委託	一般社団法人 鳥取県産業環境協 会	331,000	(H27.7.13) 262,440	H27.7.13 ~ H28.3.31	H27.7.13 (免除)	H28.3.30	精	H28.4.5	262,440	ID:15-00054454	
	単県	自給飼料収穫作業 委託	大山ビューコントラ クター組合	1,128,700	(H27.8.12) 1,128,700	H27.8.12 ~ H27.10.31	H27.8.6 (免除)	H27.9.30	精	H27.11.11	1,128,700	ID:15-00068061	
	単県	自給飼料収穫作業 委託	萩原コントラクター 組合	1,418,640	(H27.4.20) 1,418,640	H27.4.20 ~ H27.5.31	H27.4.7 (免除)	H27.4.30	精	H27.6.30	1,418,640	ID:15-00006588	
	目計											900,858	
	目計											12,072,243	
	畜産振興費	単県	県優良種雄牛造成 事業	鳥取県家畜改良協 会	400,000	(H27.4.1) 400,000	H27.4.1 ~ H28.3.31	H28.3.31	H28.3.31	概 精	H27.9.7 H28.5.9	300,000	ID:15-00064902
		単県	ゲノム育種価を活 用した次世代の和 牛改良推進事業	公益社団法人全国 和牛登録協会	18,558,832	(H27.4.1) 400,000	H27.10.7 ~ H28.3.31	H27.10.5 (免除)	H28.4.15	概	H27.11.16 他	18,512,513	ID:15-00099474
目計											4,644,000	ID:15-00138435	
合計											23,456,513		
合計											35,528,756		

13 工事請負費調べ
 14 財産に関する調べ
 (1)公有財産
 ア 土地

該当なし

(平成28年5月31日)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月 日	
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷西 高野606-1外	269,482.85	4,635,274				269,482.85	4,635,274	
計			269,482.85	4,635,274			269,482.85	4,635,274		
普通財産			0.00	0			0.00	0	0	
計			0.00	0			0.00	0	0	
合計			269,482.85	4,635,274			269,482.85	4,635,274		

イ 建物

(平成28年5月31日)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況			本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月 日	
行政財産	事務所	琴浦町松谷	716.20	34,684,000			716.20	34,684,000		
	ボンベ庫		6.00	事務所に含む			6.00	事務所に含む		
	直接検定牛舎		448.00	13,160,000			448.00	13,160,000		
	鋸屑置場		42.00	7,614,245			42.00	7,614,245		
	種雄牛舎		777.60	21,500,000			777.60	21,500,000		
	人工授精舎		235.00	5,993,906			235.00	5,993,906		
	管理舎		19.87	800,000			19.87	800,000		
	和牛育成牛舎		301.18	5,640,000			301.18	5,640,000		
	和牛繁殖牛舎		603.20	45,170,000			603.20	45,170,000		
	待機牛舎		216.00	3,171,088			216.00	3,171,088		
	秤量場		19.87	665,000			19.87	665,000		
	車庫		160.00	9,913,000			160.00	9,913,000		
	屋外便所		3.75	196,500			3.75	196,500		
	生物工学棟(生物)		220.91	23,237,229			220.91	23,237,229		
	農機具庫		335.40	7,335,367			335.40	7,335,367		
	供卵・受卵牛舎		1,023.76	40,379,000			1,023.76	40,379,000		
	繋留場		33.92	1,000,000			33.92	1,000,000		

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	増減理由	登記年月 日	面積(m ²)	価額(円)	
	肥育牛舎		837.01	37,080,000	H	0	0	H	837.01	37,080,000	
			増加	0	0	H	0	0	0	0	
			減少	0	0	H	0	0	0	0	
	堆肥舎		997.20	49,985,150	H	0	0	H	997.20	49,985,150	
			増加	0	0	H	0	0	0	0	
			減少	0	0	H	0	0	0	0	
	隔離舎		262.20	16,380,000	H	0	0	H	262.20	16,380,000	
			増加	0	0	H	0	0	0	0	
			減少	0	0	H	0	0	0	0	
	後代検定牛舎		1,112.30	79,191,000	H	0	0	H	1,112.30	79,191,000	
			増加	0	0	H	0	0	0	0	
			減少	0	0	H	0	0	0	0	
飼料保管庫		250.00	15,309,000	H	0	0	H	250.00	15,309,000		
		増加	0	0	H	0	0	0	0		
		減少	0	0	H	0	0	0	0		
乳牛舎		737.10	69,241,200	H	0	0	H	737.10	69,241,200		
		増加	0	0	H	0	0	0	0		
		減少	0	0	H	0	0	0	0		
生物工学棟(育種)		525.08	74,517,450	H	0	0	H	525.08	74,517,450		
		増加	0	0	H	0	0	0	0		
		減少	0	0	H	0	0	0	0		
旧乳牛舎		396.69	3,600,000	H	0	0	H	396.69	3,600,000		
		増加	0	0	H	0	0	0	0		
		減少	0	0	H	0	0	0	0		
旧乳牛育成牛舎		198.34	1,500,000	H	0	0	H	198.34	1,500,000		
		増加	0	0	H	0	0	0	0		
		減少	0	0	H	0	0	0	0		
旧飼料庫		148.76	2,150,000	H	0	0	H	148.76	2,150,000		
		増加	0	0	H	0	0	0	0		
		減少	0	0	H	0	0	0	0		
計			10,827.34	569,413,135		0	0	10,827.34	569,413,135		
普通財産			0.00	0	H	0	0	0.00	0		
計			0.00	0	H	0	0	0.00	0		
合計			10,827.34	569,413,135		0	0	10,827.34	569,413,135		

ウ山林

該当なし

工 動 産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

才 物 権

該当なし

力 無 体 財 産 権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

キ 有 価 証 券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成28年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	52,339	150,811	132,741	70,409	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道プリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	52,339	150,811	132,741	70,409	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 了 土 地

(平成28年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電力供給施設	琴浦町松谷字西高野606-1	電柱 6	平23.4.1	昭51.4.1	平23.4.1~平28.3.31	年額 1,500	8,400	倉吉市駄経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所		
			支線 4				年額 180				
			電柱 7	平23.4.1	昭58.7.19	平23.4.1~平28.3.31	年額 180	2,520			
			支線 5				年額 360				
			支柱 2	平23.4.1	平4.4.1	平23.4.1~平28.3.31	年額 180				
			支柱 1	平23.4.1	平9.2.27	平23.4.1~平28.3.31	年額 1,500	3,000			
			支線 1				年額 1,500				
			支柱 1	平25.3.1	昭58.4.1	平25.4.1~平30.3.31	年額 1,500	12,000			
			電柱 5	平26.4.1	平16.4.16	平26.4.1~平31.3.31	年額 1,500	3,000			
			支線 2				月額・年額	29,280			
支線柱 1											
支柱 1											
支線 1											
電気通信設備											
計											
普通財産											
計											
合計											

イ 建物

(平成28年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	自動販売機	琴浦町松谷字西高野606-1	1.25㎡	平25.4.1	平19.6.29	平25.4.1~平30.3.31	年額 7,780	7,780	鳥取市緑ヶ丘2-667-14 (株)戸信		
計							月額・年額	7,780			
普通財産											
計											
合計											

(2) 物品

(平成28年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先住所氏名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
牛	1	くにきよふく1	H25.12.1 ～ H28.11.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小前 孝夫	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	たからひさ3	H25.12.1 ～ H28.11.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小前 孝夫	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	福増	H26.10.1 ～ H29.3.31	月額・年額 2,160,000	2,160,000	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 信國 卓史	岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売	
合計					2,160,000				

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	東伯郡琴浦町松谷606 畜産試験場	12.5	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末 人	当月減		当月増		当月末		調定額 円	収入済額	収入未済額
		うち減免 人	人	うち減免 人	人	うち減免 人	人			
4月	32					32	32	0		
5月	32		1		1	33	33	0		
6月	33					33	33	0		
7月	33					33	33	0		
8月	33					33	33	0		
9月	33					33	33	0		
10月	33			2	2	35	35	0		
11月	35	1	1		1	35	35	0		
12月	35					35	35	0		
1月	35					35	35	0		
2月	35	1	1			34	34	0		
3月	34					34	34	0		
合計								0		

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成28年3月31日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
小型貨物ダンプ	H26	鳥取100さ7465	H26.1.27	3,892	H28.1.7	円 62,154 (内訳) タイヤ交換 9,720 タイヤ交換 9,720 車検 42,714	
普通貨物自動車	H15	鳥取100は498	H15.6.27	31,420	H27.6.12	70,278 (内訳) 車検・部品 70,278	
普通貨物トラック	H9	鳥取11せ8484	H9.7.15	96,499	H27.7.24	104,976 (内訳) タイヤ交換 9,720 車検・部品 85,536 タイヤ交換 9,720	
合計		3台		131,811		237,408	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成28年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定年月日	不用とする理由	処分			備考	
							売払棄却の別	売払方法・棄却理由	処分年月日		売払額・処分費用
乳牛(パインバリーアイダロツタインスタマティックベイ)	1	23.3.1	8年	37,000円	27.4.20	試験研究対象外	売払	委託販売	27.4.22	81,387円	
和牛(望都久)	1	25.9.1	8	390,000	27.5.12	肥育試験終了	売払	委託販売	27.5.20	1,145,996	
和牛(高幸55)	1	25.8.1	8	390,000	27.5.12	肥育試験終了	売払	委託販売	27.5.20	879,915	
和牛(勝百合)	1	25.9.1	8	390,000	27.5.12	肥育試験終了	売払	委託販売	27.6.3	1,033,551	
和牛(氣高望)	1	25.8.1	8	390,000	27.5.12	肥育試験終了	売払	委託販売	27.6.3	936,278	
和牛(波奈久)	1	25.10.1	8	414,000	27.6.26	肥育試験終了	売払	委託販売	27.7.15	1,254,571	
和牛(第2線延長)	1	25.12.5	8	559,650	27.7.1	後代検定終了	売払	委託販売	27.7.15	1,373,166	
和牛(晴福)	1	25.12.5	8	594,300	27.7.1	後代検定終了	売払	委託販売	27.7.15	1,386,463	
和牛(桃次郎)	1	25.12.5	8	548,100	27.7.1	後代検定終了	売払	委託販売	27.7.15	1,213,652	
和牛(福福鶴)	1	25.12.5	8	570,150	27.7.1	後代検定終了	売払	委託販売	27.7.22	1,320,067	
和牛(勝昭菊)	1	25.11.1	8	419,000	27.7.23	肥育試験終了	売払	委託販売	27.8.3	1,085,671	
和牛(勝百合)	1	25.12.5	8	596,400	27.7.23	後代検定終了	売払	委託販売	27.8.3	1,099,739	
和牛(土土呂)	1	25.12.5	8	540,750	27.7.23	後代検定終了	売払	委託販売	27.8.3	1,053,558	
和牛(夏花久)	1	25.11.1	8	419,000	27.7.23	肥育試験終了	売払	委託販売	27.8.3	928,506	
和牛(百合西松)	1	25.12.5	8	506,100	27.7.23	後代検定終了	売払	委託販売	27.8.5	1,218,045	
和牛(助郎73)	1	25.12.5	8	547,050	27.7.23	後代検定終了	売払	委託販売	27.8.5	1,368,155	
和牛(ゆり)	1	25.12.5	8	493,500	27.8.12	後代検定終了	売払	委託販売	27.8.19	1,274,578	
和牛(ゆりふく)	1	25.12.5	8	528,150	27.8.12	後代検定終了	売払	委託販売	27.8.19	1,364,970	
和牛(福桜)	1	26.3.6	8	636,300	27.8.31	後代検定終了	売払	委託販売	27.9.2	1,357,842	
乳牛(パインバリーエアロフラワーエアレイドベスカトー)	1	21.12.1	8	52,000	27.9.1	試験研究対象外	売払	委託販売	27.9.7	255,960	

乳牛(バインバリーアイダロットスバイラルアンナ)	1	26.6.25	8	72,000	27.9.1	試験研究対象外	売払	委託販売	27.9.7	217,080
和牛(夏美安)	1	22.9.1	8	661,500	27.9.11	後代検定不合格	売払	委託販売	27.9.14	99,644
和牛(桜5)	1	25.9.5	8	609,000	27.9.11	後代検定に供さず 育成解除	売払	委託販売	27.9.14	92,273
乳牛(バインバリーアイダロットスバードペンチャー)	1	25.1.1	8	68,000	27.9.9	試験研究対象外	売払	委託販売	27.9.14	153,388
和牛(感動O1)	1	26.6.5	8	567,000	27.9.17	肥育試験終了	売払	委託販売	27.9.30	831,220
和牛(照波)	1	26.6.5	8	582,120	27.9.17	肥育試験終了	売払	委託販売	27.9.30	1,079,385
和牛(公福89)	1	26.6.5	8	548,640	27.9.17	肥育試験終了	売払	委託販売	27.9.30	964,988
和牛(助郎80)	1	26.6.5	8	547,560	27.9.17	肥育試験終了	売払	委託販売	27.9.30	1,009,495
和牛(感激O1)	1	26.6.5	8	631,800	27.9.17	肥育試験終了	売払	委託販売	27.9.30	1,120,857
和牛(助郎75)	1	26.3.6	8	630,000	27.10.19	後代検定終了	売払	委託販売	27.10.21	1,364,962
和牛(やすひらかね1)	1	21.9.1	8	275,231	27.11.4	牛群更新	売払	委託販売	27.11.5	489,240
和牛(やすふくひらしげ)	1	21.3.5	8	430,500	27.11.4	牛群更新	売払	委託販売	27.11.5	519,480
和牛(かつただてる3)	1	20.12.1	8	238,658	27.11.4	牛群更新	売払	委託販売	27.11.5	524,880
和牛(みゆうひさ1)	1	22.11.12	8	272,706	27.11.4	牛群更新	売払	委託販売	27.11.5	586,440
和牛(大山夏)	1	26.1.1	8	442,000	27.10.19	肥育試験終了	売払	委託販売	27.10.28	1,367,967
和牛(福白鵬)	1	26.3.6	8	644,700	27.10.19	後代検定終了	売払	委託販売	27.10.28	1,348,963
和牛(徳波勝)	1	26.6.5	8	533,520	27.10.15	肥育試験終了	売払	委託販売	27.10.28	953,939
和牛(勝白福)	1	26.8.1	8	430,000	27.10.15	肥育試験終了	売払	委託販売	27.10.28	975,084
和牛(菊鶴晴)	1	26.4.17	8	587,520	27.11.4	後代検定終了	売払	委託販売	27.11.11	1,232,967
和牛(白鵬祭)	1	26.4.17	8	498,960	27.11.4	後代検定終了	売払	委託販売	27.11.11	961,064
和牛(弓福平)	1	26.4.17	8	578,880	27.11.4	後代検定終了	売払	委託販売	27.11.11	1,471,497
和牛(勝茂八)	1	26.5.1	8	439,000	27.11.4	肥育試験終了	売払	委託販売	27.11.11	1,230,591

和牛(そらからはひねず)	1	26.3.6	8	572,250	27.12.4	後代検定終了	売却	委託販売	27.12.16	1,580,544	
和牛(せきてるひさ)	1	26.3.6	8	488,250	27.12.28	後代検定終了	売却	委託販売	28.1.20	1,465,726	
和牛(ふくひらり)	1	26.2.1	8	396,000	28.1.5	後代検定終了	売却	委託販売	28.1.20	1,208,560	
乳牛(パインバリーアイダロッタスバイラルシェリ)	1	25.8.1	8	74,000	28.1.26	試験研究対象外	売却	委託販売	28.2.1	253,800	
乳牛(パインバリーエアフロワーエンフアシスヘ)	1	23.11.1	8	54,000	28.1.26	試験研究対象外	売却	委託販売	28.2.1	277,560	
乳牛(パインバリーチョーカーサンシャインオセロ)	1	21.9.1	8	27,000	28.1.26	試験研究対象外	売却	委託販売	28.2.1	276,480	
和牛(てるこ)	1	26.4.17	8	600,480	28.1.6	後代検定終了	売却	委託販売	28.2.2	1,403,100	
和牛(なつこ)	1	26.4.17	8	492,480	28.1.6	後代検定終了	売却	委託販売	28.2.2	1,368,351	
和牛(てんしのもと)	1	26.3.1	8	396,000	28.1.6	後代検定終了	売却	委託販売	28.2.2	1,401,455	
フォレージブローワ	1	1.10.6	5	708,640	28.12.18	修理不能	売却	鉄くず売却	28.2.24	1,080	
大型石炭スプレー機	1	12.6.26	15	609,000	28.12.18	修理不能	売却	鉄くず売却	28.2.24	540	
自動配餌車	1	11.10.20	4	1,291,500	28.12.18	修理不能	売却	鉄くず売却	28.2.24	1,080	
高圧洗浄機	1	7.3.3	15	395,520	28.12.18	修理不能	売却	鉄くず売却	28.2.24	270	
マニユアワゴン	1	昭和63.9.2	5	1,374,000	28.12.18	修理不能	売却	鉄くず売却	28.2.24	8,100	
自動天秤	1	10.2.27	15	55,000	28.12.18	修理不能	売却	鉄くず売却	28.2.24	54	
小計	57			26,844,865						49,474,174	
和牛(飛良柴)	1	26.3.6	8	651,000	27.4.8	起立不能・予後不	棄却	起立不能	27.4.8.	-	
乳牛(パインバリーグラスヒルゼニスタルト)	1	21.9.1	8	27,000	27.10.22	試験研究対象外	棄却	乳房炎	27.10.22	-	
産業動物用硬性鏡	1	2.2.20	5	4,068,500	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	-	他の廃棄物を含めて混合廃棄物で廃棄したため、処分費不明
プログラムプリーザー	1	5.3.30	5	4,635,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	-	(混合廃棄物)処分費: 48,600円
超音波妊娠診断器	1	63.1.19	5	2,450,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	-	
カラースキヤニングスコープ	1	1.3.24	5	7,800,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	-	
粗繊維分析装置	1	11.9.7	5	2,940,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	-	

牛衝器ツル―テトエコノミープラス	1	9.10.3	8	613,200	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
消毒器	1	55.10.27	10	60,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
顕微鏡テレビ撮影装置	1	61.3.20	5	198,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
遠心分離機	1	60.2.14	5	495,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
テレビモニター他	1	9.3.7	5	638,600	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
電子式高感度記録計	1	8.6.14	8	306,940	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
上血電子天秤	1	59.7.27	8	498,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
窒素分析装置	1	10.2.27	5	1,589,700	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
振とう恒温槽	1	10.2.16	5	370,125	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
脂肪抽出装置	1	61.3.18	5	320,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
直熱式脂肪抽出装置	1	7.9.14	5	369,317	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
超音波診断装置	1	10.3.10	5	5,565,000	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
細胞融合装置チャバリモコン付	1	8.3.25	5	3,699,760	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
細胞融合装置	1	3.9.13	5	4,068,500	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.8	—
家畜生体肉質測定装置	1	6.10.26	5	4,707,100	27.12.18	修理不能	棄却	修理不能	28.1.12	—
飼料運搬車	1	8.3.22	4	412,000	28.1.25	動作不良	棄却	修理不能	28.1.26	—
小計	23			46,482,742						0
合計	80			73,327,607						49,474,174

21. 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物確認できなかった物品名	個数
H27年12月4日 ～ H27年12月17日	・有 (・無)		

2.2 事業別予算執行状況調べ

目 名	財産管理費	(平成28年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
県有施設営繕事業	場内7施設の修繕を実施	

目 名	農業総務費	(平成28年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
先端的農林水産試験研究推進強化事業	ゲノム育種価算出のための遺伝子検査及び統計処理技術の習得を行う。	
農林水産部管理運営費	新採職員研修に要する経費	

目 名	畜産振興費	(平成28年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
県優良種雄牛造成事業	優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行う。	
ゲノム育種価を活用した次世代の和牛改良推進事業	遺伝子検査により、牛個体の能力を推定するゲノム育種価を活用して、迅速かつ確実な繁殖雌牛の改良と次世代の種雄牛造成を行う。	

目 名	畜産総務費	(平成28年5月31日現在)
事業名	事業の概要（目的、実績等）	
畜産課管理運営費	試験研究・ブランド化・種雄牛造成に関する打合せに要する経費、育休等職員代替非常勤職員報酬経費	

目 名 畜産試験場費		(平成28年5月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
畜産試験場管理運営費	施設の維持管理、非常勤職員等の管理運営を行う経費	
畜産試験場施設整備費	肥育牛舎屋根改修工事実施	
試験研究費	試験研究課題等16事業を実施。詳細は「6 主な事業に関する調べ」及び「25 試験研究調査事業別実施状況」	

23 農業機械の管理状況

品名	形式及び規格	取得年月日	用途	稼働日数	燃料		修繕費用	左の主な内容	備考
					消費量	金額			
	ジョンディア 2650D	H3年7月17日	圃場管理	43	761	98,930	269,870	タイロッドボールエンド交換 243,000 オイル交換 26,870	
	マッセイ ファーガソン① MF6160-4C	H7年10月16日	"	39	693	90,090	311,116	タイロッドボールエンド交換 127,440 ドアノブ交換 25,380 オイル・エレメント交換他 158,296	
	マッセイ ファーガソン② MF6160-4C	H9年6月26日	"	31	571	74,230	707,346	ETCU故障修理 351,540 タイロッドボールエンド交換 122,040 PTOスイッチ交換 44,280 タイヤパンク修理 25,790 オイル・エレメント交換他 163,696	
	ヤンマー EG83	H26年6月24日	"	366	1435	186,550	174,733	ガラス他修理 60,264 オイル・エレメント交換他 114,469	
	ミニホイル ローダー								
	コマツ WA20-2	H5年7月27日	牛舎管理	246	283	36,790	23,166	特定自主検査 23,166	
	コマツ WA20-2E	H8年3月6日	"	143	384	49,920	133,228	特定自主検査 21,600 オイル交換他 23,954 フィルター交換他 87,674	
	クボタ RA300	H15年6月5日	"	366	798	103,740	552,760	特定自主検査 47,898 タイヤパンク修理 5,616 プロペラシャフト他交換 499,246	
	クボタ R520-D	H15年10月17日	"	130	661	85,930	275,848	特定自主検査 31,320 オイル交換他 48,600 作業油内部漏れ修理 195,928	
	クボタ R530-Z	H23年8月9日	"	135	1,441	187,330	55,112	特定自主検査 37,681 オイル交換他 17,431	
計					7,027	913,510	2,503,179	2,503,179	

24 生産物(品)に関する調べ

(平成28年5月31日現在)

生産部門	品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量			場内使用	処分数量				備考	
				前年度からの繰越	生産購入	計		売却	目的外使用	廃棄	計		分類換
				数量	金額	数量	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
生乳			135,780 kg	0 kg	157,517 kg	157,517 kg	48 kg	18,044,687 円	157,469 kg	0 kg	157,469 kg	18,044,687 円	0 kg
精液			28,000 本	244,487 本	39,177 本	283,664 本	1,086 本	7,654,740 円	7,481 本	34,862 本	42,354 本	7,654,740 円	240,224 本
和牛受精卵			150 個	931 個	104 個	1,035 個	41 個	0 円	0 個	0 円	0 個	0 円	994 個
小計								25,699,427 円				25,699,427 円	
粗飼料	ロール牧草	16.9 ha	180 ロール	175 ロール	175 ロール	350 ロール	92 ロール	0 円	0 ロール	0 ロール	0 ロール	0 円	258 ロール
	サイロコーン	5.6 ha	200,000 kg	188,851 kg	210,000 kg	398,851 kg	165,648 kg	0 円	0 kg	2,700 kg	2,700 kg	0 円	230,503 kg
	小計							0 円				0 円	
家畜	和牛子牛		25 頭	21 頭	40 頭	61 頭	0 頭	14,538,960 円	25 頭	1 頭	26 頭	14,538,960 円	20 頭
	乳牛子牛		10 頭	2 頭	9 頭	11 頭	0 頭	253,800 円	5 頭	1 頭	6 頭	253,800 円	0 頭
	小計		35 頭	23 頭	49 頭	72 頭	0 頭	14,792,760 円	30 頭	2 頭	32 頭	14,792,760 円	20 頭
合計							40,492,187 円				40,492,187 円		

25 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成28年5月31日現在)

事業名	「鳥取和牛オレイン55」の増産に向けた飼料給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成25年度 ～ 28年度		(予算額) 支出済額	(5,094,000円) 5,094,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料給与技術の開発により「鳥取和牛オレイン55」の生産頭数増加を図る。 (単・受)	畜産試験場 農家	肥育牛50頭	①オレイン酸含有率の向上を目的に、飼料米発酵飼料およびビオチンの給与肥育試験を行う。 ②オレイン酸含有率生前診断法を確立するため、肥育中の牛の血液成分と脂肪酸組成との関連性を調査する。	(成果) ①現在、肥育試験は実施中である。 ②オレイン酸生前診断は、肥育中の肥育牛47頭の血液を採取し、そのうち農家分26頭について血清タンパクと枝肉脂肪中のオレイン酸含有率を調査したところ、枝肉のオレイン酸を重相関係数0.829で推定する予測式が得られた。 (課題) 予測式の検証を行う。

事業名	飼料米を活用した鳥取和牛ブランド向上試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成27年度 ～ 29年度		(予算額) 支出済額	(467,000円) 467,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
株式会社美歎牧場より委託を受け、ソフトグレインサイレージ(SGS)(膨軟化処理し粉砕飼料用米をサイレージにしたもの)給与マニュアルを作成する。 (単・受)	畜産試験場 農家	肥育牛8頭	株式会社美歎牧場より委託を受け、SGSを黒毛和種肥育牛に給与し、発育及び枝肉形質に与える影響について調査を行う。	(成果) 現在、肥育試験は実施中であり、試験牛の出荷を平成29年4月に予定している。 (課題)

事業名	強化哺育を活用した和子牛の育成技術確立試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 28年度		(予算額) 支出済額	(3,743,000円) 3,743,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。				

事業名	黒毛和種去勢肥育牛の短期肥育技術の 確立		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(3,424,000円) 3,424,000円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調 査 の 対 象 ・ 数 量 ・ 範 囲	本年度の試験研究 調 査 等 の 目 標	試験研究調査の成果・課題
全国和牛能力 共進会での優 秀成績獲得及 び肥育コスト 削減のため短 期肥育技術の 確立を図る。 (単)	畜産試験場	肥育牛40 頭	①短期肥育において、通常 肥育の濃厚飼料増給パター ンの対照区と、対照区より 早く濃厚飼料を増給する試 験区を比較し、発育及び肉 質に及ぼす影響を調査す ることにより、適切な濃厚飼 料の増給方法を検討する。 ②飼料添加材による発育改 善の検討する。	(成果) ①測尺数値及び血液分析結果に大き な差はなかった。枝肉形質は皮下脂肪がうす いなど、全体的に試験区が良い傾向が見られ たが、有意差はなかった。 ②現在肥育中であり、28年度に成績検討を 行う。 (課題) 今後は飼料添加材の利用により、発 育及び肉質の改善を検討する。

事業名	優良遺伝子を用いた新鳥取和牛の創造		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年度～		(予算額) 支出済額	(2,814,000円) 2,813,140円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調 査 の 対 象 ・ 数 量 ・ 範 囲	本年度の試験研究 調 査 等 の 目 標	試験研究調査の成果・課題
市場価値の高 い「新鳥取和 牛」を創り出 すために、産 肉性と種牛性 に関わる優良 遺伝子を探索 し、種雄候補 牛や優良雌牛 の選抜に活用 して、優秀な 種雄牛の造成 を図る。	畜産試験場	黒毛和種 種雄牛、 種雄候補 牛、繁殖 雌牛及び 肥育牛	・ゲノム育種価の精度向上 ・ゲノム育種価を活用した 種雄候補牛、繁殖雌牛選抜 の実施 ・ゲノム育種価の新たな形 質への応用(美味しさ、繁 殖性、気質) ・遺伝的多様性評価	(成果) ・7形質中4形質で精度向上(脂肪交雑につ いては相関係数0.91→0.95) ・種雄候補牛21頭、繁殖雌牛約2,900 頭のゲノム育種価を評価 ・新たな形質への基礎データとして、グリコ ーゲン、水分含量、気質のデータを蓄積 ・県内繁殖雌牛についてSNP情報による遺 伝的背景を分析 (課題) ・ゲノム育種価の更なる精度向上 ・受精卵段階での評価法の習得 (共同研究先は受精卵段階での評価に成功) ・新たな形質への取組み ・遺伝子発現機序(エピジェネティクス等) に関する取組み

事業名	牛の精液供給事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和53年度 ～		(予算額) 支出済額	(9,625,000円) 9,624,555円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調 査 の 対 象 ・ 数 量 ・ 範 囲	本年度の試験研究 調 査 等 の 目 標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。				

事業名	鳥取和牛肉うまみ開発試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成17年度～		(予算額)	(3,019,000円)
			支出済額	3,018,960円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
鳥取和牛肉のブランドカアップのため、消費者や生産者が求める「うまみ」のある鳥取和牛肉生産に向けた研究を行う。 (単)	畜産試験場	黒毛和種肥育産子の牛肉サンプル	・黒毛和種50頭のリブローズについて、煮肉法（煮て調理する方法）での食味評価と成分分析値との関係を調査した。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食味評価の総合評価に関係するのは、風味であることが分かった。 ・風味に最も影響する成分として、グリコーゲン含量（多い方が良い）と水分含量（少ない方が良い）が特定された。 <p>※グリコーゲンとは、ブドウ糖が結合したデンプンのこと。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県の畜産食品業者との共同研究により行った結果であり、他県産和牛肉についての結果であるので、鳥取和牛肉についても同様の調査を行う必要がある。 ・煮肉法で行った結果であり、焼肉法でも同様の調査を行う必要がある。

事業名	鳥取和牛の効率的な増産と改良に向けた体外受精卵利用技術体系の構築		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成26年度～30年度		(予算額)	(2,423,000円)
			支出済額	2,423,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛の増頭と改良のため、ほとんど未利用であった体外受精卵技術を体系化して普及する	畜産試験場 倉吉農業高校 農家	雌牛20頭と場卵巣200検体	体外受精卵の生産実証（経膈採卵あるいはと畜牛由来体外受精卵の生産と移植）および体外培養系の効率化	<p>(成果)</p> <p>と場由来卵子への体外受精後の発生培地にLカルニチンを添加することにより、胚盤胞発生率が上昇することが示唆された。(試験区:40.6%、対照区:30.3%)</p> <p>農家が廃用した登録雌牛のと場卵巣を用いて、登記可能体外受精卵を、5頭から計29卵(平均5.8卵)生産した。</p> <p>(課題)</p> <p>胚盤胞発生率の向上を目的とした培地への新たな添加剤の検討。(目標発生率50%)</p> <p>胚の一部を切り取り、遺伝子検査等に用いるための技術習得。</p> <p>生産した体外受精卵を移植し、受胎性や分娩、子牛の発育を検証。</p>

事業名	和牛産肉能力直接検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和54年度～		(予算額)	(3,114,000円)
			支出済額	2,619,734円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛産肉能力直接検定 (単)	畜産試験場	黒毛和種種雄候補牛12頭	発育や体型、飼料利用効率などの項目で種雄候補牛の能力調査を実施し、種雄候補牛の一次選抜を行う。	(成果) 検定実施頭数 : 5頭 検定終了頭数 : 3頭 選抜頭数 : 2頭 (課題) 優秀な種雄候補牛を確実に選抜するため、より適切な候補牛の導入時選抜や検定実施の体制を構築する。

事業名	現場後代検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年～		(予算額)	(29,023,000円)
			支出済額	27,974,680円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
優秀な種雄牛造成のための肥育試験実施 (単)	畜産試験場	1種雄牛当たり、畜産試験場10頭・肥育農家8頭を肥育試験に供する	直接検定試験で選抜された待機種雄牛の産子を肥育し、遺伝的産肉能力を判定して、優秀な種雄牛を選抜・造成する。	(成果) 検定実施種雄牛 : 6頭 産子肥育頭数 : 120頭 検定終了種雄牛 : 3頭 (うち2頭合格) (課題) 遺伝的産肉能力を最大限発揮させるための、飼養管理技術のさらなる向上。 オレイン酸含有率を高めるための飼養管理技術の習得

事業名	高能力受精卵増産委託事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成27年～		(予算額)	(10,858,900円)
			支出済額	9,689,045円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
畜産試験場で繁養する繁殖雌牛から受精卵の採取・販売を委託することにより鳥取和牛の増産を図る。 (単)	畜産試験場	供卵牛50頭。	高能力種雄牛「百合白清2」、「白鵬85の3」の受精卵の効率的生産及び県内農家への販売。	(成果) のべ採卵頭数 : 59頭 総正常卵数 : 313卵 (平均5.3卵) 販売卵数 : 255卵 (課題) 正常卵数を増加させ、農家に安定して受精卵を供給させるための、飼養管理技術のさらなる向上。

事業名	砂丘地飼料作物栽培及び牛への給与に関する試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成25年度 ～27年度		(予算額) 支出済額	(579,000円) 578,520円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
砂丘農地での飼料作物栽培を検証し、自給率向上と荒唐農地解消を目指す。 (単)	畜産試験場北栄町地内	トウモロコシ、スーダングラス、ソルゴー	砂丘地でのトウモロコシ(中生)の栽培、収穫体系を実証し、生産性を検討する。	(成果) トウモロコシ栽培の作業体系は、砂地を考慮して不耕起播種、クローラ型の汎用型飼料収穫機を利用した。砂丘地栽培では子実部の生育が弱く、収穫量は黒ボク土での栽培と比較し、7割程度であった。 (課題) 砂丘地の賃貸や灌水利用料、収穫にコントラクター利用料が必要だったことなどからサイレージの生産費が高くなり、生産コストの低減が課題となった。

事業名	粗飼料増産のための優良品種選定試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成25年度 ～27年度		(予算額) 支出済額	(73,000円) 73,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料作物を試験栽培し、県内の気候に適した優良品種を選定する。 (単)	畜産試験場	イタリアンライグラス トウモロコシ	自給粗飼料の生産基盤強化と増産を目的に、牧草の優良品種を選定するための試験栽培を行う。	(成果) イタリアンライグラスでは今年度終了した試験は無かった。トウモロコシでは、「P1543」、「スノーデント122レオ」、「P2307」の3か年平均収量が標準品種を上回り良好な成績となった。 (課題) 引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。

事業名	飼料分析を活用した給与技術向上支援事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成27年度		(予算額) 支出済額	(737,000円) 737,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料を分析し、自給飼料生産技術・飼料給与技術の改善を支援する。 (単)	畜産試験場	飼料分析依頼件数：551件	・家畜飼料の栄養成分分析を行い、飼料給与設計の基礎データとして活用。 ・家畜の生産性(牛乳・牛肉)や繁殖性に最も影響が強い「飼料給与技術」の向上。	(成果) 飼料分析は綿密な飼料給与設計の基礎データとして活用されている。また、高品質な自給粗飼料生産や飼料給与改善に向けた指導、助言を行った。 (課題) 引き続き、自給粗飼料の収量及び品質の向上に向けた指導、助言を行う。

事業名	粗飼料生産事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	昭和41年度 ～ 継続実施		(予算額)	(8,169,000円)
			支出済額	8,168,340円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験供試牛へ給与する自給粗飼料を生産する (単)	畜産試験場 飼料畑	圃場面積 11.5ha	作付け品種 春作：トウモロコシ 目標：200t 秋作：イタリアグリス 目標：1500-ル トウモロコシの収穫はチューブバッグ方式を農家委託で行う。 (チューブバッグ方式：直径2.4m、長さ60mのナイロン製チューブの中にトウモロコシを詰め、発酵させる方式)	(成果) 秋作イタリアンは1750-ル、春作トウモロコシは220tと収穫量を増加できた。 チューブバッグサイロ方式により密閉度が高まり乳酸発酵が促進されたため、pH3.86と良質なサイレージが確保できた。(良質発酵の目安はpH4.2以下) また、通常のバンカーサイロ方式と比較して作業行程が少ないといったメリットがあるため、作業時間は短縮された。 (課題) 自給飼料の収穫量は確保できたが、硝酸態窒素濃度がやや高いため、施肥体系については加里の少ない化成肥料を使用している。

事業名	所得向上を目指したTMR調製技術の 確立試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 28年度		(予算額)	(9,927,000円)
			支出済額	9,927,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
乳牛へ給与するTMRの最適な調製技術の確立と新たな自給飼料の活用でコスト削減を図る。 (単)	畜産試験場 県内酪農家	当該飼養の搾乳牛 20頭 圃場5a 農家40戸	飼料用大豆が輸入粗飼料の代替となるか栽培・分析調査を行う。 県内酪農家のTMRの実態調査を行う。 (TMR：牧草類と穀類等を機械で混ぜ合わせた「混合飼料」)	(成果) 飼料用大豆のタンパク含量は輸入粗飼料の代替となる分析結果であった。雑草対策としてイタリアン刈取り後のリビングマルチ効果で対応できることが確認できた。県内農家のTMRの実態調査を行い、分析中。 (課題) 自給飼料の作付体系に則した現場での活用可能な給与指標の作成が急がれる。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし